

平成 16 年（2004 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（４日目）

平成 16 年 12 月 13 日（月）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	屋 良 栄 作 (市民の会)	1 行財政改革について	今回の日本経済新聞社による行革達成度ランキングの活性化・効率化部門で、本市は第 3 位の評価を得ているが、前回と比較して、何が評価されたと考えているか、伺う また、今後、他部門や総合ランキングで上位を目指すには、何をなすべきで、現時点で足りないところは何であると考えているか、伺う
		2 環境行政について	本年 10 月に本市が受賞した「緑の都市賞」とはどういう賞であり、受賞理由は何であると考えているか、伺う
		3 企画行政について	(1) 12 月 1 日から翁長市政 2 期目がスタートしたが、これを機に市長公約の進捗状況を毎年公表するようにしてはどうか、見解を伺う (2) 第三者機関を設け、本市の政策や事業を評価する仕組み作りをする考えはないか、伺う (3) 現在、40%の削減予算案をシミュレーションしているが、補助金審議会を設置し、その必要性や事業効果を第三者の視点で判断してもらう考えはないか、伺う
		4 観光行政について	本市の三大祭り(那覇ハーリー・那覇大綱挽・首里文化祭)や、世界遺産の写真や絵などを携帯電話の待ち受け画面等に提供していくことで、本市の P R やイメージアップにつながると考えるが、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（４日目） 平成 16 年 12 月 13 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	崎 山 嗣 幸 (社社クラブ)	1 財政問題について 2 郵政民営化 反対について 3 公民館、図 書館の建設等 について	前年度の当初予算も、約 24 億円の財源不足が生じ、財政調整基金と減債基金を取り崩した 平成 17 年新年度予算も、編成の段階で約 48 億円の財源不足が試算され、当局は枠配分方式を導入し、一般財源の内、企画経費や義務的経費を除いた約 97 億円を各部に割り振りしている その中で、各部への削減方針を約 37 億円指示しているが、特に、教育委員会約 10 億円、健康福祉約 5 億円の削減内容を伺う 小泉首相は、2003 年 4 月にスタートした郵政公社が、まだ中期経営計画途中でありながら、2017 年 3 月末に、郵便、貯金、保険の 4 事業を完全民営化しようとしている これは、国民生活のライフラインである、郵便局ネットワークを崩壊させることにもなる また、過疎地など不採算地域からの撤退など、サービスの低下が危ぶまれている 市長の見解を伺う (1) 平成 5 年に策定した、社会教育施設整備計画に基づいた 10 館構想の進捗と今後の見通しについて伺う (2) 現在の 7 館の地域バランスはとれていると考えるか、伺う (3) 久茂地公民館、図書館の老朽化と今後の対応策を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 時間外勤務 について	厚生労働省は、職員の過重労働による健康障害の発生防止を図るよう通達を出している 市当局は、平成 13 年に厚生労働省が労働時間の適正な把握のために、使用者が講ずべき措置に関する基準、及び平成 15 年 5 月に出した、賃金不払い残業の解消を図るために講ずべき措置等に関する指針に基づき、庶務管理システムに職員の出退勤管理の機能を果たすＩＣカードの導入をしている。では、具体的に質問をする (1) ＩＣカードの導入の効果は、どうなっているか伺う (2) 導入職場の時間外の実態を伺う (3) 産業医や労働安全衛生委員会の機能と役割を伺う (4) 賃金不払い残業の実態を伺う 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 16 年 12 月 13 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	高 良 幸 勇 (清政クラブ)	1 基地問題について	(1) 沼田貞昭前沖縄大使が離任会見の中で、県民の要望として「米軍に対しては抗議より対話」と発言したが、これは県民感情を逆なでするものではないか、市長の見解を求める (2) 去る 25 日、山崎拓首相補佐官は沖縄タイムスインタビューで、那覇空港は自衛隊との軍民共用により過密で民間専用化を進める必要があるとしているが、これは極めて重要な発言である。市長の所見を求める
		2 事前ポスター掲示の自粛に関する決議について	那覇市は、市長選や市議選のポスターの掲示について、決議に基づいて適法な処置をしているか 【答弁を求める者】 市長、助役、選挙管理委員長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 16 年 12 月 13 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 神原小学校給食調理業務委託「検証報告書」について 2 宇栄原南土地区画整理地域の側溝の整備について 3 学童クラブでの障害者の受け入れについて 4 伝統工芸館の跡利用について	(1) 神原小学校給食調理業務委託検証委員会の設置の役割と検証方法について問う (2) 「検証報告書」のアンケート調査の問 5 の内容と、その結果について問う (3) 「検証報告書」のアンケート調査の問 6 の記載事項について問う (4) 問 1 と問 5 の設問の内容は、どこが違うのか、問 5 の設問の意味は何か問う (5) 神原小学校給食調理業務委託「検証報告書」の 27 ページ、施設・設備の提供は、地方自治法、条例、規則においてなされているのか問う 整理計画は、どうなっているのか問う 一人から、補助の対象とすべきである。養護学校の生徒も補助の対象にすべきである。見解を問う 地域・市民が利用できる公的施設として、跡利用すべきである。地域・市民がどのような公的施設を望んでいるのか、アンケート等で調査すべきである。当局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 16 年 12 月 13 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	平 良 正 邦 (社社クラブ)	1 N A H A ぶんかテンプス整備事業について 2 那覇市内の N P O 活動について	(1) 事業の目的の項目に「N P O 活動支援センターを設置し、N P O 活動の支援により、人材育成、特に市民団体を育成する」となっているが、市民団体とは具体的にはどのようなものなのか。また、どのように育成するのかを伺いたい (2) 目的の項目に「S O H O 支援施設を設置し、起業家の支援や人材育成を図る」となっているが、S O H O 支援事業がどのようになっているのか具体的に伺いたい (3) さらに目的として「チーム未来の活動拠点として、『チーム未来の家』を設置する」となっている。チーム未来とは、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業の検討のために、県内市町村に設置された組織という定義づけであるが、その実態はどのようなものか。 そして、那覇市にもあると理解しているが、具体的にどのような活動をしてきたのかを伺いたい (1) 市内で活動している N P O 市民団体の数や、その活動状況について伺いたい (2) 平成 12 年 1 月から平成 14 年 3 月までに、公設公営の那覇市 N P O 活動支援センターが行ってきた市民団体への助成金の交付状況について伺いたい

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 「N A H A ぶんかテンプ ス」内のN P O 支援センタ ーの活動につ いて	(1) 平成 17 年 4 月から、沖縄リサイクル市民の会に、N P O 支援センターの活動を全面委託することになっているが、それに伴う予算措置はどうなっているのか伺いたい (2) 沖縄リサイクル運動市民の会が、受託団体となっているが、受託団体と市との関係についてどうなっているのか伺いたい
		4 那覇市の難病者への行政事業について	(1) 都道府県事業とされている「特定疾患治療研究事業（難病医療支援制度）」の対象疾患（45 疾患）の那覇市内の受給者状況を伺いたい (2) 市町村事業である「難病患者等居宅生活支援事業」の窓口を那覇市は設置しているのか 「難病患者等居宅生活支援事業」の那覇市の実績はあるのか 実績がなければ、その理由は何か (3) 都道府県事業として難病・支援センターが平成 15 年度から都道府県毎に順次設置され、同センターは市町村と連携・連絡調整を行うことになっているが、那覇市として今後どのような具体的取り組みを行うのかを伺いたい
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 16 年 12 月 13 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	渡久地 修 (日本共産党)	1 三位一体改革と来年度予算編成について 2 那覇市立大名保育所について 3 教育行政について 4 首里コミュニティバス実証実験、100円バスの運行継続について 5 首里金城町の生活環境整備について	(1) 今回の三位一体改革の政府・与党の合意についての見解を問う (2) 地方交付税の削減については、断固反対の立場を貫くべきではないか (3) 来年度予算編成、実施計画での一律４割カット削減の方針について 来年度から那覇市立大名保育所を廃止することだが事実か。公立保育所として存続させるべきである。見解を問う 中部の小学校で児童が死亡する重大な事故があったが、いろんな事故から子どもたちを守るために、どのような対策をとっているか (1) 実証実験の目的、運行実績、住民の反応について (2) 実証実験は 2005 年 2 月 6 日までとのことだが、継続運行が強く求められている。継続運行のために必要なものは何か。市としてやるべきものは何か (1) 進捗状況と問題点、今後の方針について、細街路、下水道、水道について伺う (2) 真玉道(石畳道)の安全な歩行を確保することについて
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（４日目） 平成 16 年 12 月 13 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	比 嘉 憲次郎 (社社クラブ)	1 道路行政について 2 消費者教育について 3 N A H A マラソンについて	土地区画整理事業進行中の地区において、順次舗装整備された区画道路について、以下のことを伺う (1) 道路を舗装整備した場合、事業主はこの道路に関し、標識を設置する必要性まで判断するのか (2) 道路を舗装整備した場合は、標識を設置する関係機関（県警、公安委員会）と、どう調整しているのか 沖縄県、特に県都那覇市はサラ金被害者、いわゆる多重債務者が非常に多い市である そこで以下のことを伺う (1) 市は、市民向けに多重債務に陥らないための啓発活動をしているのか (2) 学校現場（中学・高校）において消費者教育は行われているか 第 20 回 N A H A マラソンは、2 万 4,000 人の参加者のうち、県外・海外からの参加者が 6,000 人と成功裡に終わった。 名実ともに日本有数の大会になっているが、安全面について伺う (1) マラソンコース自体、日本有数の大会の名にふさわしい、安心して走れるコースであるのか (2) 急病人が出た場合の救急体制は、どのようなになっているか 【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、消防長、関係部長